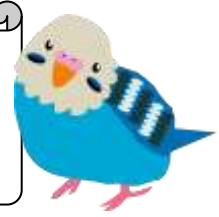


# 支援部だより



2022年7月15日

みなさん、こんにちは！ 三重県立盲学校 支援部です。

今年は梅雨明けが例年よりも早く、蒸し暑い日が続いていますが、児童・生徒のみなさんは暑さに負けず、1学期残り少ない授業を一生懸命頑張っていますね。

まもなく夏休みを迎えます。ご家庭におかれましても、日々の健康管理や規則正しい生活が送れるよう、ご支援をよろしくお願いいたします。

今回は、プレ幼稚部「ひだまり教室」の様子と、各種事業所の紹介をしたいと思います。

## 笑顔いっぱい ひだまり教室

ひだまり教室は、4月26日にスタートし、4歳児1名、5歳児1名が元気な顔を見せてくれました。

今年度は、「身体を動かす楽しさを知る」「生活や遊びの中で見たり触ったりする楽しさを味わう」活動を積極的に取り入れていきたいと思っています。

学校散策、遊具など身体全体を使った遊び、個別の学習、季節に応じた活動などを行っていく予定です。



※ひだまり教室は、早期教育、早期支援を目的とした「プレ幼稚部」として、3年前から実施されています。（今年度は、週2回の実施）

視覚に障がいがある乳幼児には、早期支援がとても重要です。三重盲に正式な幼稚部の設置が望まれます。

# 進路担当から

5月の連休明けから、県内各地の障がい福祉関係機関を訪問し、盲学校への連携・協力をお願いしてきました。それと並行して、在校生のみなさんの実習先・進路先開拓のために各種事業所訪問を行いました。そのなかからいくつか紹介していきたいと思います。

## こまつ作業所

津市の御殿場海岸近くにあるB型<sup>\*</sup>と生活介護<sup>\*</sup>の多機能型事業所で、箱折りや機械部品の組み立て作業などを行っています。視覚障がいの方も2人在籍されています。



## すずらん

松阪市大黒田町にあるB型<sup>\*</sup>事業所です。企業の販売促進物、季節商品、密閉保存容器セット、箱折の組み立てなどの軽作業を行っています。すべての障がい種の方を対象とした事業所で実習の受け入れ可能です。

## きらめき工房 いが

旧伊賀町（現 伊賀市）にあるB型<sup>\*</sup>と生活介護<sup>\*</sup>の多機能型事業所です。タッパーの組み立て、ラベル貼り、梱包、水道の蛇口に付けるろ過キャップの蓋閉めなどの軽作業や陶芸、さをり織り、老人施設での清掃業務などを行っています。



## ありんこ

明和町の社会福祉協議会が運営する多機能型事業所。B型<sup>\*</sup>と生活介護<sup>\*</sup>の作業内容やグループは別々になっています。生活介護はゆったりした雰囲気で行い、工賃は月平均1～2千円くらい（最高9千円）。B型は草刈り等の重労働や美和ロックからの請負業務などを行っており、月5～10万円稼ぐ利用者さんもいるとのことでした。以前視覚障がいのある方が在籍してみえたそうです。

※ 障害者総合支援法に基づいて運営されている就労継続支援事業所について、A型は雇用契約を結ぶ（ハローワークを介する）就業形態、B型はサービス利用の意味合いが強い就業形態です。勤務時間などによっても変わってきますが、概ね月給はA型が7～8万円、B型が1～2万円程度の事業所が多いように思われます。また、生活介護でもB型に近い作業を行っている場合、工賃が支給される事業所もあります。

その他、㊦もみじの家(名張市)、㊦さくら草(多気町)、㊦あゆか(松阪市)、㊦ひかり(津市)、㊦生活介護事業所あゆみ(アート工房ペがさす・シャイカフェ)(津市)、㊦㊦河芸しいのみ(津市)、㊦つばさ久居(津市)、ピアノ家具センター(松阪市)、百五管理サービス株式会社(津市)、筑波技術大学(茨城県つくば市)にもお邪魔しましたので、次号以降で紹介していきたいと思います。もし、「ちょっとでも早く情報が欲しいわ」、「もっと他の施設も見てきてくれない?」といった要望がございましたら、進路担当(支援部直通059-234-2231)まで直接連絡をお願いします。

中学部や高等部普通科では、例年夏休み期間中に職場体験や現場実習を行っています。今年度も中3生や普通科生を中心に実施する予定です。専攻科につきましては、みなさんの進路希望に沿った施術所やデイサービス施設などへの見学・実習を計画しています。

本校では目の「見え方」に関する様々な相談をお受けしています。視覚に障がいのある乳幼児から成人、その保護者や支援する周りの人たちの相談に応じます。また学校・関係機関における研修会等への講師派遣や巡回相談にも応じています。みなさんに親しみを持ってもらえるように盲学校内の相談窓口を「まなびアイサポートセンター」という愛称にしました。三重県内のセンター的機能を担う支援センターとして役割をはたしていきます。

第2号は以上になります。ありがとうございました。